

機械（精密機械を除く）器具製造業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	工場にて作業中躓いて転倒し、左腕に体重が乗ってしまい、左腕手首のすぐ上部を骨折した。	42	1～9
1	16～17	組立場にて、弁組立部品刻印作業中、刻印用ポンチの所在を確認するために洗浄室前通路を横切り、パレットに右足をのせたところ、パレットに敷いてあるダンボールで滑り転倒した際に自分の体が足の上に乗って右足を骨折した。	33	50～99
1	7～8	会社構内の駐車場に自家用車を止め歩いて会社事務所向かう途中、凍った路面に足を滑らせ腰部より落下し、大腿骨頸部を骨折した。	33	50～99
1	9～10	同社工場内に於いて、フィルターの洗浄作業をするため作業場所に置いてあった鉄製のアングル材の支柱を数本移動する作業中、足元を見ていたつもりだったが、そばにあった他のアングル材に足をとられてしまい転倒した。その際にそのアングル材を握って前方に転倒したため、別アングル材の台座部分と握っていたアングル材とに右手環指と左手示指を挟み込み裂傷した。	55	10～29
1	16～17	本社工場1階作業場で、立型マシニング作業中に製品に付帯している工程管理作業書を取りに行こうとして、立型マシニングの横を通った際に、機械横に置いている昇降用踏み台につまずき、転倒し負傷した。	64	50～99
2	17～18	掃除後、足に痛みを感じた。帰宅時、会社構内で空足を踏んだ状態となって右ひざを痛めた。	58	10～29
2	8～9	入社時、W2北駐車場からロッカーへの階段途中で、本人がロッカーに向かって、階段を上り始め、数段上って足をステップにかけた時に、ステップに乗せた足が滑って転倒した。その結果、顔面を階段にぶつけ、切創／折歯となった。	43	1000～9999
		当社社屋内の通路の、床に油がしみ込んで滑りやすい箇所を歩行中、清掃前だった。		

2	8~9	たため足を滑らせて転倒してしまった。その際、頭を打ちそうになったので、かばう為に右手を着き、負傷した。	52	30~ 49
3	0~1	当社工場において、プラスト機から製品（鉄の塊、幅30cm×奥行き10cm×高さ15cm、重量約20kg）をBOXパレットへ入れるため、製品を持ち変えた際にバランスを崩して転倒し、右足首を骨折した。	38	50~ 99
3	16~17	工場1Fメインライン現場で現場内を歩行しているとき、溶接機と製品置台の間（約48cm）を通り抜けようとしたところ、溶接機の配線（太さ約1.2cm、3本がまとめられているもの）に足をとられ転倒し、左膝蓋骨を骨折した。	47	50~ 99
3	10~11	工作機械のテーブル上で、鉄屑をほうきで除去する作業中、立てかけていたほうきを取ろうと、テーブルの縁の鉄屑用バケットに右足をかけた際、バケット内に右足が滑り落ち、バランスを崩して転倒した。そのとき右足つま先部がテーブルの下のくぼみに引っかかり抜けず、バケットの縁に右足首上部が圧迫されて骨折した。	35	50~ 99
3	14~15	帰宅時に構内メイン通路を歩行中、段差があり、足首を捻って転倒した。	48	500 ~ 999
3	15~16	工場内の通路を歩行中、前方に部品が入ったダンボール箱があったため、避けて通過しようとしたところ、左足がダンボール箱と接触し、その反動で箱が回転し両足の間に挟まり、左膝から地面に強打した。	40	10~ 29
3	14~15	当社工場、出荷棟洗浄場手前付近にて、組立前塗装完了品のギヤカバーを2個両手で持って移動中に、付近にあったバイス台に気付かず、ハンドルが左ひざに当たり床面に転倒した。その際、ハンドルにぶつめた左ひざ部分に打撲を負った。	69	100 ~ 299
4	8~9	リニューアル工事の安全巡視中、産業用ロボットの設置調整終了に伴い、巡視地点より右足を後退させた際に設備架台の隙間に靴が挟まり、転倒して腰を擦った。（他工場における出張作業）	49	1000 ~ 9999
5	17~18	検査室で作業中、急ぎの仕事が入って小走りになったところ、足を滑らせ転倒した。右足に全体重が乗るように倒れてしまい、脱臼および骨折をした。	23	30~ 49

6	16~ 17	当社工場内にて、鋼材の在庫管理の為、置いてある製品の奥に行こうとして、右足が引っかかり転倒し、左手をついて骨折した。	54	10~ 29
6	11~ 12	工場内でロール内部拔出作業の為に、ロールに付けていたワイヤーロープを被災者が跨ごうとしたところ、バランスを崩し床面に身体の左側面を打ちつけた。	63	10~ 29
7	22~23	工場構内にて、ポジショナー（高さ約1m）メインフレーム裏面仕上げ溶接作業中に床面に降りる際、左足をブラケットに掛けたが、掛かりが浅く滑って後方に倒れ、左手でパイプをつかんだが支えきれずに、後方のブラケットにヘルメット後部を打ちつけた後、ヘルメットバンドとスクリューが接触、床面に臀部を打ちつけた。	32	1000 ~ 9999
7	8~9	配送先に到着、納品を完了し空バット回収中、店舗駐車場内、車両後方に倒れている本人をお客様が発見し救急車を呼ぶ。店舗から連絡を受け、すぐに派遣元担当者へ報告、その後の対応を依頼する。派遣元担当を通じ診断書の提出を依頼中、亡くなられたとの連絡を派遣元担当より受けた。車→3tトラック	56	10~ 29
7	8~9	カエリ取り室の自席に座っていて予鈴が鳴ったので席の隣のゴミ箱へゴミを捨て、朝礼に向かおうとした時に、ゴミ箱のそばに置いてあるパレットに足が引っかかり、転倒し、肩を強打した。当日は痛みを我慢して定時まで作業して帰宅したが、痛みが激しかった。右肩骨折と診断された。	50	10~ 29
7	17~18	工場外周で、屋根散水用ドレン弁を開いて水が出るか確認するために、雨トユと散水用ドレン弁に気を取られながら歩行していた時、雨水浸透柵段差を踏み外し足首をひねり小石の上に、踝がのる状態で転倒したため、左足関節外顆骨折した。	46	50~ 99
7	16~ 17	パート勤務が終了したので、就業場所の2階より3階ロッカー室で着替え、1階に向かって階段を下り終えたがその下に段差があり（高さ6cm程）、その段差で足を捻り、そのまま捻った側に倒れてしまい、足を痛めた（右足第5中足骨骨折）。	50	100 ~ 299
7	8~9	事業場内の工場において、品物の入った荷物を持つようとして、少しバックしたときに、足が滑り転倒した。その際に右肘を床についたが、右肩に強く力が働いて、右肩関節の肩甲骨を負傷した。	66	10~ 29

7	14~ 15	工場内で電話中、音声聞き取りにくかった為、工場外へ電話をしながら出ようとしたとき、切断後の端材に足が引っかかり転倒し、左膝を床に強打し負傷した。	53	50~ 99
7	7~8	駐車場から工場へ行く途中、転んで手をついた時に損傷した。	55	10~ 29
9	16~ 17	工場C棟通路で、台車に積んでいた空箱を降ろし、台車を所定の置場に移動する時、台車が重く（11kg）、手で持ち運ぶ事が辛くなり、床に置き右足で押した。その際、台車が勢いよく前に進み、バランスを崩し転倒、右足が踏ん張れずに伸びてしまった。	63	100 ~ 299
9	11~ 12	第1工場シール工場で、通常通り加工作業をしていた。トイレ休憩をし、トイレから出て職場に戻ろうとした時、トイレ出口の階段を一段下りた所でバランスを崩し、足を捻り被災した。（壁にもたれかかる程度で転倒なし、当日は特に、体調不良や考え事をしながらの歩行はしていなかった。）	37	100 ~ 299
9	8~9	会議室にてパソコンデータ投影用の収納式スクリーンを広げた際、スクリーンの足（高さ15m）に躓き転倒し、左手をついた際、左手首を骨折した。	56	1000 ~ 9999
10	6~7	製造ライン裏の素材供給場所へ向かって歩いていた。素材の残りが少ないことに気づき、素材置場へ向かうために、反時計回りに方向転換した時に、足を滑らせ右大腿部外側から床に落ちた。（金属部分の切削加工現場であるため、オイルミストが床に蓄積することにより滑りやすい環境である）	47	300 ~ 499
10	8~9	工場内機械組立エリアで、機械部品の確認をするために、保管場所に入ろうとした。近接エリアの機械を避けるために、屈みながら体を反転した時、バランスを崩し床に転倒、下肢を強打した。痛みが強く自身では足が全く動かさないため、救急車を依頼した。	67	1~9
10	15~ 16	工場内で荷物を両手で抱え運ぶ作業中、段差に足を取られ左足首を捻って転倒し、負傷した。	61	1~9
	10~	造船所にて、艀装工事中、陸上より船上に部品を手を持って上がろうとしてい		30~

11	11	た。タラップから踏み台に降りる際、足を踏み外して転倒し左足首をくじいた。	20	49
12	9~10	年末大掃除中に、生産管理室で予想以上に埃が舞ったため、皆にマスクを配ろうと思い慌てて取りに行こうとし、床に撒かれてた洗剤に滑って転び、左手を強打して骨折した。	51	30~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html